

漁海況情報

平成20年6月11日 第8号(通巻367号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

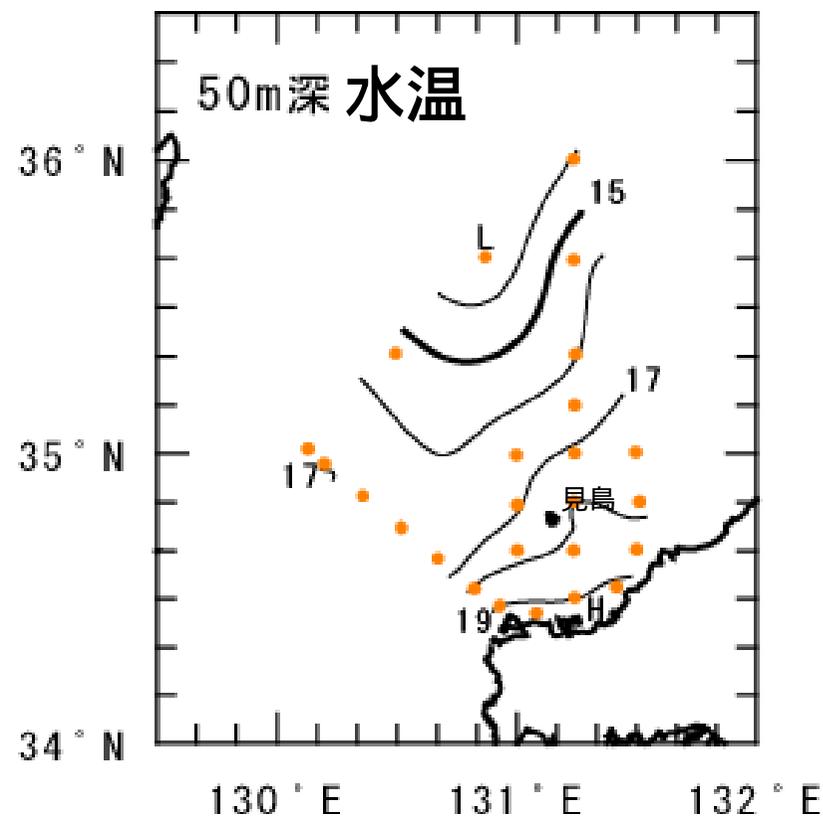
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

くろしおによる海洋観測速報

6月9～11日にかけて、漁業調査船「くろしお」で定線観測を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【50m深の水温分布】

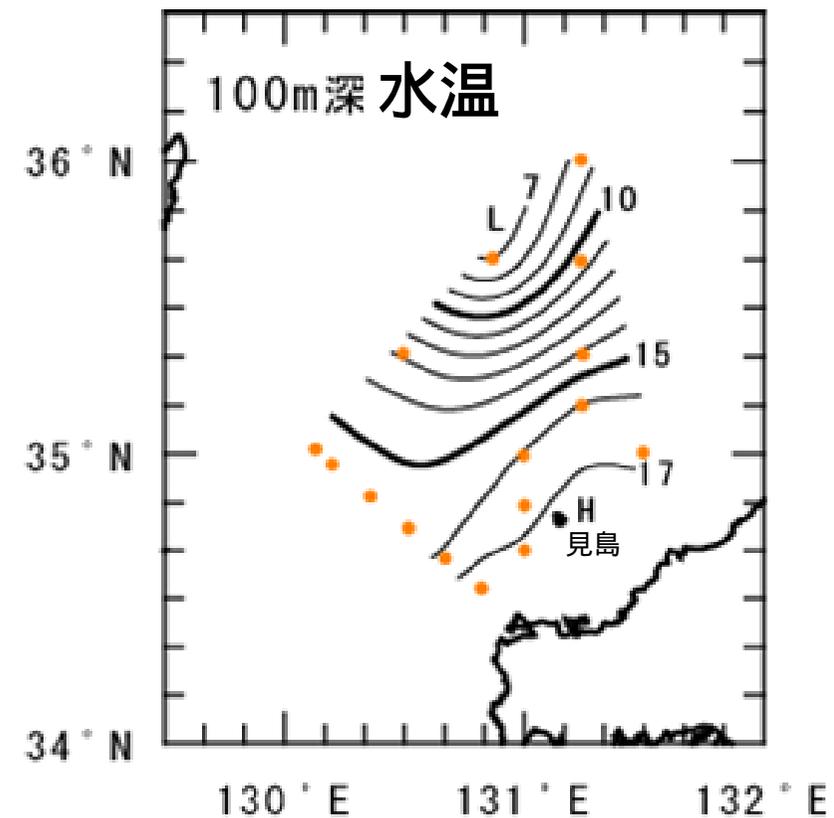
前月から約1～3℃昇温して、14～19℃台となりました。見島から沿岸はやや高め(+0.5℃)で、見島から沖合は平年並み(+0.3℃)でした。



【100m深の水温分布】

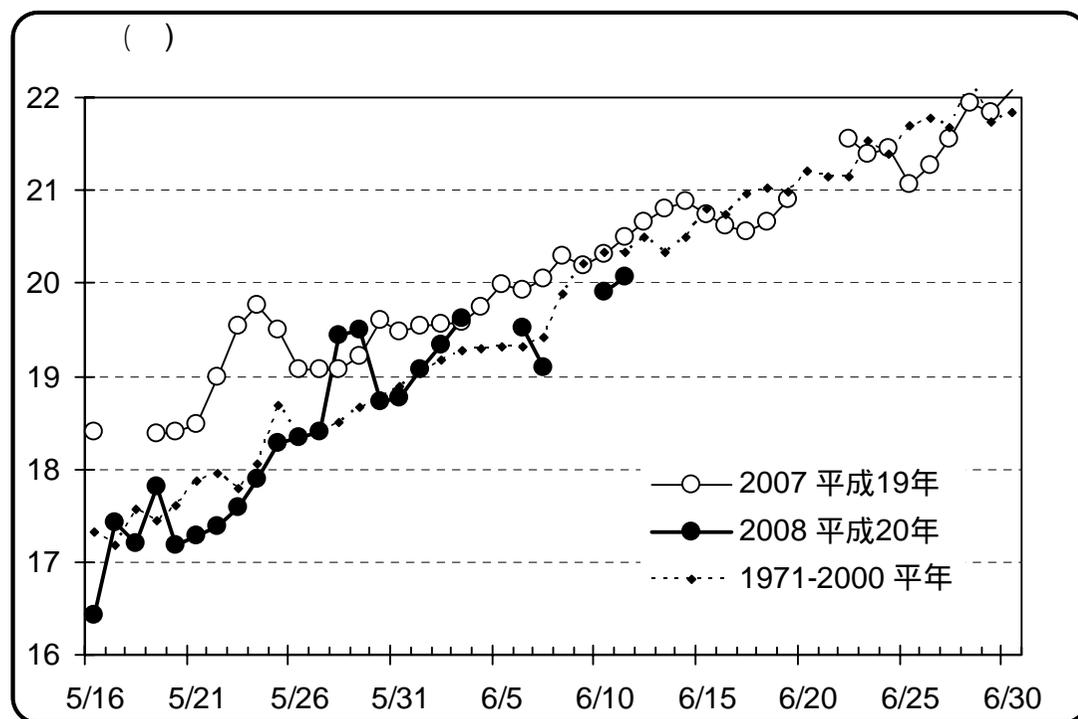
冷水域の張り出しが前月に比べて弱く、見島から沖合では平年並み(-0.8℃)でした。

見島から沿岸域は、平年並み(+0.5℃)でした。



【萩 - 見島フェリー観測の表面水温】

6月11日の萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表面水温は20.07で、前年に比べ0.25低め、平年に比べ0.26低めとなっています。下のグラフを見ると、5月16日以降は前年を下回り、平年並みで推移していましたが、6月上旬は前年・平年を下回って推移しています。



萩NNW15マイル沖表面水温の推移(5月16日以降)

【マアジの漁況予報】

6～10月における県内のマアジの漁獲量は、前年を下回り、平年並みと予想されます。次の4つの項目から総合的に判断しました。

* ここで「平年」とは、過去5ヶ年の中型まき網による漁獲量の平均値(2,078トン)で、「前年」とは平成19年の漁獲量(2,116トン)のことを指します。

根拠とした内容

対馬暖流系群マアジ資源評価

マアジ資源は中位で、動向は減少傾向にあると判断される。

* 西海区水研がH19年8月公表したもの

* 山口水研センターも参加

対馬暖流系群マアジ(H20年4～9月期)漁況予報

マアジの来遊量は前年並みと予想される。

沖合域では前年並み、沿岸域では前年、平年を下回るであろう。

* 西海区水研がH20年3月に公表したもの

* 山口水研センターも参加

平成20年日本海マアジ(H20年5～9月期)漁況予報

マアジの来遊量は日本海西部と中北部ともに前年並みと予想される。

* 日本海区水研がH20年5月に公表したもの

山口県の中型まき網によるマアジの漁獲動向

平成11年以降は、2,000～3,000トンで安定して推移している。